

おうちで百人一首

ひやくにんいつしゅ

中・高学年向け

〽 百日後にマスターするわたし

ひやくにちご

九日目 〽

今日の一首

みなもとのとしよりあそん

源 俊頼朝臣

上の句

憂かりける

ひと はつせ

人を初瀬の

やま

山おろしよ

下の句

はげしかれとは

いの

祈らぬものを

歌の意味

わたし はつせやま かんの人さま

私は初瀬山の観音様に「あの人

ひと

わたし おも

私を思ってくれますように」とお祈

いの

りしたのですが、「初瀬山から吹く風

はつせやま

ふ かぜ

のように私に冷たくなつてほしい」

わたし つめ

などとはお願いしませんでしたよ。

ねが

十日目の歌は・・・

うた

まめちしき！

ひやくにんいつしゅ

百人一首では、親子で歌

おやこ うた

を選ばれてる人がいます。

ひと

なか

としより ちち

その中でも、俊頼は父だ

むすこ えら

けでなく、息子も選ばれて

います。すごいですね。

かい こえ だ
3回、声に出して
よ
読んでみよう！



あま かぜ
天つ風 雲の通ひ路 吹きとぢよ

をどめの姿 しばしとどめむ

すがた